

レジメン名	診療科
Bev+IRIS	外科

適応疾患	1クール	28日間
進行再発大腸癌	総クール	PDまで
	休薬期間	13日

薬剤名(一般名)	投与量	投与日 (d1~d5、d1、d8等で記入)
ベバシズマブ	5mg/kg	d1、d15
イリノテカン	100mg/m ²	d1、d15

内服併用薬	投与量	用法	投与日(d1~d5、d1、d8等)
アプレピタントCap	125mg	分1 ②投与時	d1、d15
アプレピタントCap	80mg	分1 朝食後	d2~d3、d16~17
TS-1	80-120mg/日※	1日2回朝夕食後	d1夕~d15朝

処方 (輸液・プレメジ・ポストメジを含む)

番号	薬剤名・用量(mg/m ²)	投与方法	投与速度	投与日(d1~5等)
①	ベバシズマブ5mg/kg+N _s 100mL	DIV	初回90分 2回目60分 3回目以降 30分	d1、d15
②	グラニセロン3mgハック+100mL+テキサート4mg	DIV	30分	d1、d15
③	イリノテカン100mg/m ² +N _s 500mL	DIV	90分	d1、d15
④	N _s 50mL(フラッシュ用)	DIV	全開	d1、d15

備考 (減量・中止の基準を記載してください)

※TS-1の投与量

体表面積	初回基準量	服用方法
1.25m ² 未満	80mg/日	朝40mg、夕40mg
1.25m ² 以上~1.5m ² 未満	100mg/日	朝50mg、夕50mg
1.5m ² 以上	120mg/日	朝60mg、夕60mg

ベバシズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で投与可。

2回目の投与においても忍容性が良好であれば、以降は30分間で投与可。

休薬：WBC3000未満、PLT10万未満

減量：Grade 3以上の毒性で20%減量

中止：病勢増悪、毒性により担当医が中止妥当と判断した時